

YM STORY

吉川松伏消防組合

No.3

編集
吉川松伏消防組合広報委員会
消防本部総務課

令和4年2月発行
消防本部総務課 048-982-3918
ホームページ
<http://www.yoshimatsu-119.jp/>

吉川松伏消防組合の紹介【松伏署】

皆さんに消防署をもっと身近に感じていただけるよう、消防署ってどこ？火事のない時は何をしているの？など、皆さんが知っているようで知らないことを紹介していきます。

今回は松伏町にある【松伏消防署】です。ここでは、職員33名が仕事をしています。車両は水槽付き消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、資機材搬送車1台、救急自動車1台が配備されています。



朝の交代から1日が
始まります



事務室の様子



職員意見発表会を開催

吉川松伏消防組合では、毎年職員による「意見発表会」を開催しています。

これは、職員が業務に対する提言や取り組むべき課題等について自由に発表するもので、問題解決能力や表現・発表能力などの向上を目的としているものです。

24回目の今回は、各所属を代表した3人の職員が参加し、消防業務の中で感じたことやコロナウイルス感染症拡大の中での災害対応など各自が思うことなどを発表しました。



(左)青木主査 (中央)黒田消防長 (右)黒田主事

第24回 職員意見発表会結果

最優秀賞
黒田 大介「時代に沿った災害対応」

優秀賞
青木 崇「救命の連鎖」

新型コロナ感染症拡大に伴う対応（救急現場引継体制構築！）

救急現場引継体制を構築しました。

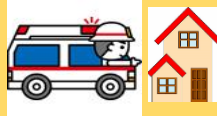
令和3年の夏ごろ、新型コロナ感染症における拡大期（第5波）に、医療機関等のひっ迫状況等により全国的に救急車が病院決定までに時間がかかってしまうような状況となりました。吉川松伏消防組合管内においても、救急件数が増加し、病院が見つからないなど、同じような状況が起きました。このような事案が続くと救急車が足りなくなってしまう可能性があります。

そのため今後、感染拡大により緊急事態宣言などが出され、医療の逼迫、救急車が病院に到着するまでに時間がかかってしまうなどの事案が生じた場合、必要に応じて救急体制の維持、強化のために現場を引き継ぐ隊を稼働し、対応する体制を構築しました。



吉川松伏消防組合では最大
5台の救急車が稼働しています。

感染
拡大



発熱患者、陽性者対応
病院が見つからない→現場から動けない！

※このような事案が増え
ると救急車が足りなくなっ
てしまうおそれがある！！

緊急事態宣言の発令や
管内の新型コロナウイルス
感染症患者に係る
救急出動件数、現場滞
在時間などを踏まえ決
定

救急現場引継体制 実施



引継ぎ隊が向かい病院が決まる
まで観察などの対応をする。
搬送先が決定したら救急車で搬
送します



救急車は他の事案に対応する
ことができる

令和4年2月3日から
15日まで、実施しま
した。



引継ぎ隊には
救急隊員の資格
を持った職員が
対応します。

2021年4月「吉川松伏消防組合設立50周年を迎えました🌸」

吉川松伏消防組合が設立50周年を迎えました

今から50年前、昭和46年4月にわずか6名の職員にて発足し、消防車1台と救急車1台で業務を開始した吉川松伏消防組合ですが、皆様よりご支援、ご協力をいただきまして、現在は職員数156名、消防車両等18台、救急車5台を有する消防本部に成長いたしました。

50周年を記念いたしまして、消防組合の歩んだ足跡を振り返り、先人たちが築き上げられました歴史を綴り、更なる飛躍を願い記念誌の発刊を企画しております。

記念誌は今年度中に出来上がる予定です。ホームページにもアップしますのでぜひご覧ください。



昭和46年当時の吉川消防署



現在の吉川消防署



昭和48年当時の松伏消防署



救急隊の様子も全然違いますね。一番上は設立当初！一番下は令和の救急隊です。

車両や装備も、今とは全然違います。「装備の基準」に沿った資機材を導入するなど、安全性も向上しています。



現在の松伏消防署

記念誌の内容を少しご紹介いたします。上の2枚のモノクロ写真は設立当初の消防車と救急車、今とは全然違いますね



火災の状況 (R3.1.1~R3.12.31)

吉川市と松伏町の火災の件数は、23件でした。令和3年中の出火原因は、放火、放火の疑いが多く確認されましたが、コンロや電気機器からの出火の割合も全体数から見ると多い傾向にあります。

気をつけよう 住宅火災編No.2
～逃げ遅れをなくすために！！～



火災で亡くなる最も多い原因は逃げ遅れです。逃げ遅れを防ぐには、住宅用火災警報器の設置が重要です！（すべての住宅に設置が義務付けられています）

※適切な場所に設置しましょう。
【寝室】【寝室がある階段の上部】が適切です。

※適切に管理をしましょう。
取扱説明書に従い定期的に作動確認をして下さい。



救急の状況 (R3.1.1~R3.12.31)

吉川市と松伏町の救急件数は、4,190件でした。昨年が3,986件でしたので、204件の増加となります。

最も多い種別は急病の2,817件で、次いで一般負傷の605件となっています。

救急車のサイレン吹鳴について

「救急車のサイレンを鳴らさないで来てほしい・・・」

まれに、このように言う傷病者の方がいますが・・・近所に迷惑がかかってしまう・・・そのような気持ちも理解できるのですが

道路交通法上、緊急車両はサイレンの吹鳴が義務づけられており、安全を確保するために、サイレンの吹鳴は必要です。ご理解、ご協力をお願いします。



火災予防～大切な命や財産を守るために～



火災は、自分自身やその家族ばかりでなく、ご近所やその友人知人など関わるすべての人を不幸にしてしまう恐ろしい災害です。ここでは全国的にみた火災について記載します。火災の怖さについて改めて確認を！！

【全国的にみた火災の現況について】令和3年版消防白書より抜粋

🔥 1日当たり 95 件の火災が発生

火災の出火件数や死者数は、平成22年以降減少傾向にあります。令和2年中の出火件数は34,691件でした。1日当たりで見ると、95件の火災が発生したことになります。

🔥 1日当たりの火災による死者数は 3.6 人

令和2年中の火災による死者数は1,326人（放火自殺者、放火自殺の巻き添えとなった者及び放火殺人による死者「以降放火自殺者等」という）を除く）となっています。

🔥 高齢者の死者数が 764 人で 69.8%（放火自殺者等除く）

🔥 死因はやけど、次いで一酸化炭素中毒・窒息が多い

一酸化炭素は酸素の約250倍という強さで赤血球中のヘモグロビンと結合してしまうため、中毒症状が発生します。火災現場では煙と共に一酸化炭素が発生し、わずか8分ほどで死に至ると言われています。

救急車の適正利用にご協力をお願いします。

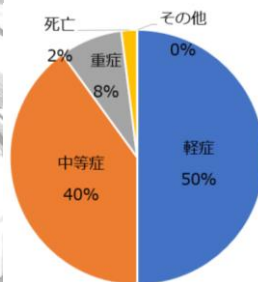
吉川松伏消防組合管内では令和2年中3,393人の方を病院へ搬送しました。救急車で病院に搬送された方で、医師の診察により軽症と判断された割合は50%でした。この中には、本来、救急車を利用する必要がなかった方もいる可能性があります。

救急車は限りある救急資源です。いざというときの皆さん自身の安心のために、救急医療の受診について考えていただきますようお願いいたします。

埼玉県ではこのようなシステムがあります！！

1. 救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきかを調べたい
【埼玉県救急電話相談】#7119又は048-824-4199
【埼玉県AI救急相談】スマホ、パソコンより検索
【全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）】スマホ、パソコンにて検索
2. 医療機関を探したい
【埼玉県医療機能情報提供システム】スマホ、パソコンにて検索

救急車は地域の限られた救急資源



自分の仲間や大切な人が、もしものときに、救急車を呼んだのにまだ来ない、そのときに、はじめて気がついても遅いのです。この機会に皆さんで考えてみてください。

令和3年度 新採用職員～訓練に始まりあって 終わりなし～

令和3年度は、新たに5名の職員が吉川松伏消防組合の仲間に加わりました。各署に配属され、まもなく一年が経過しますが、慣れない不規則な勤務体制の中、日々厳しい訓練と指導に耐え、多様な災害に出動し、知識と技術・経験を磨いてきました。今後も、自己研磨を怠らず、消防の使命を自覚し、地域住民の生命・身体・財産を守るよう、努力を続けていきます。



片桐 竣平
出身：草加市

訓練・勉強など覚える事がたくさんありますが、きつい事から逃げず向き合い、信頼される隊員になれるよう頑張ります。(写真左)



西片 慶成
出身：伊奈町

常に消防職員として一人前になるために日々訓練、勉強を行っています。(写真左)



岸井 葵永
出身：川口市



小副川 和弘
出身：さいたま市

大変なことも多いですが、消防の業務にやりがいを感じています。日々勉強し、一人前の消防士になれるように頑張ります。(写真左)



小野寺 和樹
出身：さいたま市

日々の訓練や現場活動を大事にし、一刻も早く現場に駆けつけ、人の命、財産を守る消防士になりたいです。(写真左)

日々の訓練や勉強を欠かさずに行い、早く一人前の消防士になれるように頑張ります。(写真左)





吉川市・松伏町消防団 FIRE BRIGADE



吉川市消防団



令和4年吉川市消防団出初式

令和4年1月9日(日)、吉川市美南駅西口広場において、令和4年吉川市消防団出初式を開催しました。火災や水害、大規模災害等の際には、消防団員が吉川松伏消防組合の職員とともに、災害に立ち向かいます。

松伏町消防団



救助資器材取扱い訓練

大規模災害時、常備消防だけでは災害対応が困難となります。消防団には、救助資器材が配備されており、大規模災害時には、吉川松伏消防組合の職員とともに、最前線で救助活動を実施します。

！消防団員募集中！

消防団員は、普段は各自の職業(学業)に就きながら、災害時には地域のために消火・救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。大規模災害では、常備消防組織と共に災害に立ち向かう、郷土愛護の精神にあふれた組織です。吉川市・松伏町在住・在勤・在学されている18歳以上の方で、入団を希望される方は下記連絡先にご連絡下さい。
【警防課】048-982-3968
syouboudan@yoshimatsu-119.jp

読取コードから確認できます。



吉川松伏少年消防クラブ



吉川松伏少年消防クラブ

少年消防クラブは、活動を通じて防災について正しい知識と技能を習得し、生命と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、クラブ員を通じて家庭、地域の防災意識の高揚を図り、将来の地域防災の担い手となる人材育成を目的として平成24年に発足しました。



入団式



防火学習



出初式 消防ソーラン節



出初式 通常点検

毎月1回程度、クラブ活動を実施しています。令和3年度は規律訓練(礼式)、救助訓練などを実施しました。また、吉川市消防団出初式にも参加しました。

少年消防クラブ員募集

例年、1月から2月にかけて、次年度以降、小学5年生・6年生に進級する吉川市・松伏町在住の児童を対象に、クラブ員を募集しています。

令和3年度現在、吉川市・松伏町の小学5年生から高校3年生まで、計58名が所属しています。

自分たちの街は自分たちで守る！一緒に楽しみながら学ぼう！



吉川南2号車

吉川市美南地区の人口増加に対応するため、令和4年4月1日から、吉川消防署南分署に新たに消防車1台が配備されます。

編集後記

令和2年度に引続き、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の猛威が続いており、消防組合においても各種事業が縮小や中止を余儀なくされております。

市町民の皆様と交流する機会も減少しておりますが、消防訓練や救命講習、庁舎見学等を可能な範囲内で開催して参りますので、ご理解、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

引続き、市町民の皆様とともに、吉川市・松伏町の安全・安心を守り、ご信頼いただける消防組織として務めて参ります。

